

地域資源・交通拠点等のネットワーク化による 国際観光振興方策に関する研究

プロジェクトリーダー名：空港研究部長 広瀬 宗一

技術政策課題：⑦快適で潤いのある生活環境の形成

サブテーマ：(13)自然と調和した快適で美しい都市生活環境の形成

関係研究部：空港研究部、道路研究部、港湾研究部、高度情報化研究センター

研究期間（予定）：平成16年度～18年度

総研究費（予定）：54百万円

1. 研究の背景

平成15年度に入って、【観光立国懇談会報告書（平成15年4月）】【美しい国づくり政策大綱（平成15年7月）】が相次いでまとめられ、「観光」「美しい国づくり」といった従来にはない新たな切り口で、21世紀の国づくりに向けての政策の向かうべき方向が示された。こうした国の新たな政策を効率的かつ効果的に進めて行く上で、以下のような課題が解決される必要がある。

- 1) インバウンド観光客倍増の目標を効率的に達成するために、新規の来訪者の誘致、来訪者のリピーター化が重要である。新規来訪者の誘致のためにはターゲットとなるマーケットのニーズを、また、来訪者のリピーター化のためには来訪者の満足度の評価構造を明らかにし、これらを適切に反映していく必要がある。
- 2) 従来から「観光振興」の重要性は認識され、国及び地域でそれぞれに取り組みがなされてきたが、目に見えた効果が上がってきていない状況にある。その裏には、様々な主体が多面的に観光振興に取り組む中で、方向性の設定、およびその実現のための方策が効果的に実施されてこなかったということが挙げられる。そのため、各地域の有する資源の検討を十分行った上で、ターゲットとなるマーケットのニーズ、あるいは来訪者の行動特性を考慮した観光地域づくりの目指すべき方向性を定め、国の実施する施策のみならず、多様な主体の施策を位置付けていくことが必要である（事例1）。
- 3) 観光客を惹きつけ、来訪者の満足度を高めるような魅力的な地域づくりのためには、上記の役割分担に応じた地域をはじめとする様々な主体の取り組みとともに、国においては社会資本の利活用、特に、効果的かつ広域的な地域資源及び交通拠点のネットワークの整備・利活用が重要である（事例2）。例えば、来訪客にとって、空港・港湾から都市に至る空間、いわゆる「ゲートウェイ空間」は、わが国あるいは当該地域のイメージをまず形成する空間である。しかしながら、交通混雑、交通結節点でのモード間の連携性が低いこと、都市機能とのリンクなど多様な問題点が指摘されてきている。このような阻害要因の解消を図るとともに、滞在中の快適性・利便性を向上させ、より豊かな観光体験の提供を図ることが急務であると言える。

本研究は、こうした課題を解決し、さらに国内外の観光関連政策の変遷などの分析を加

えて、上述の国の政策を支援するとともに、地域の観光振興への取り組みに対し有用なる示唆を与えることを目的に行うものである。

注）本研究の一部は、平成14年度において、「地域の価値向上のためのゲートウェイ空間整備手法に関する研究」として外部評価を受けたものであるが、今回、上述の国の新たな政策を背景に、改めて新規プロジェクト研究として研究内容の拡充・組み替えを図ったものである。

2. 研究の成果目標（アウトプット目標）

- ◇ 観光振興のための地域の取り組みのガイドラインの提示
- ◇ 豊かな観光体験を提供する資源および交通拠点のネットワーク化手法の開発
- ◇ 地域の価値向上のためのゲートウェイ空間整備手法の開発

3. 研究の成果の活用方針（アウトカム目標）

本研究では、観光振興を目指した地域資源及び交通拠点のネットワーク化手法、ゲートウェイ空間の整備手法の提示、および観光振興のための地域の取り組みのガイドラインの提示により、「観光立国」「美しい国土の創造」に向けた地域間競争の質の向上、ひいては地域の個性を生かした経済活性化に資するものである。

4. 研究内容、年度計画

4.1 研究内容

①観光地の特性および来訪者の観光行動の関連分析

（地域を類型化し、数地区でケーススタディを実施）

- a. 観光利用面からみた地域の特性分析
 - ・観光資源性、交通条件、宿泊条件等
 - ・主要観光地の入込者数
 - ・現況観光ネットワーク（パッケージツアー／定期観光バス／モデルプラン等）
 - ・交通拠点の利用客の発地の範囲／観光利用・非観光利用比率 等
 - ・地域のゲート（空港等）を中心とする観光地域の範囲特定
- b. 観光利用面から見た観光地域の分類と課題設定
 - ・観光資源性からみた分類／利用者特性からみた分類／交通特性からみた分類 等
 - ・ケーススタディ対象地選定
- c. タイプ別ケーススタディ
 - ・交通拠点からの観光行動の現況の把握（アンケート、パッケージツアー分析 等）
 - ・交通ネットワークの変遷に伴う観光行動及び観光地の変遷の把握（周辺地域の観光資源・交通ネットワークの変遷の把握／主要観光地の推移 等）
 - ・観光地域のイメージの構造の影響（アンケート（入口・出口）、媒体分析（ガイドブック・パンフレット 等））
- d. 観光行動・来訪者満足度・地域イメージの構造分析
 - ・地域イメージの形成メカニズムの分析

- ・来訪者の満足度の評価構造の分析

②訪日外客の行動特性および潜在マーケットの分析

- 訪日外客等の観光行動の特性分析
 - ・属性、観光行動の把握・分析（既存調査より）
- 訪日外客の行動特性と満足度の評価構造の検討
 - ・訪日外客の実態および意識調査（属性、観光行動、動機付、評価等）
 - ・訪日外客の日本および訪問地域に対するイメージの構造とその要因
- 諸外国における日本の観光イメージ分析
 - ・ガイドブック、パンフレット、パッケージツアー等より
- 諸外国における旅行マーケット分析
- 新規マーケットの可能性の検討とニーズの把握

③国内外の観光関連政策の変遷と社会構造の変容についての調査・分析

- わが国のインバウンド政策の展開の整理
 - ・明治以降の国の観光政策の通史（既存研究による）
 - ・近年のインバウンド振興への取り組み（国・地方）
 - ex. 国際観光テーマ地区
観光交流空間づくりモデル事業・・・
- 海外観光政策事例調査・分析
 - ・観光政策の把握と実際の計画・整備及びその評価の把握

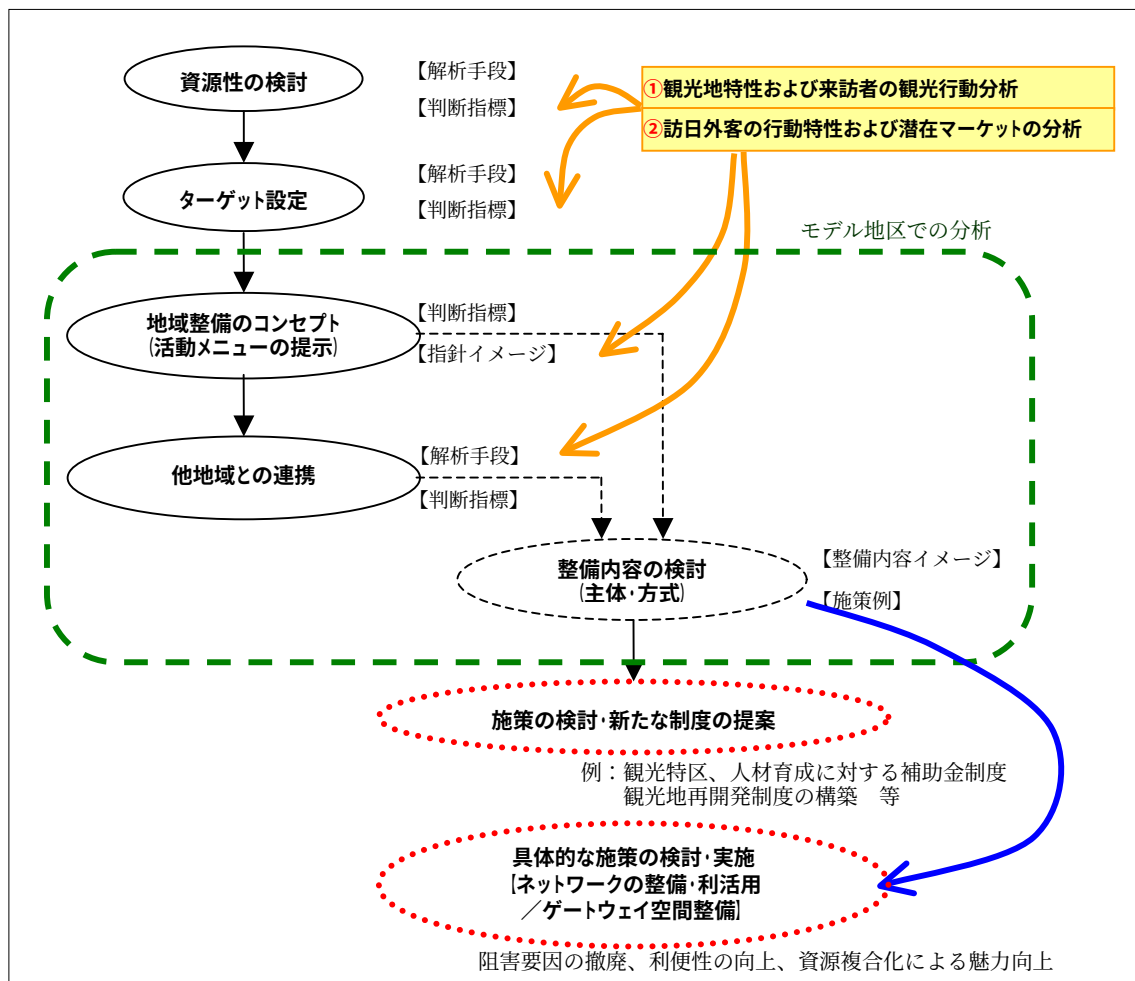
④モデル地区における観光振興のための地域整備と連携に関する分析

- ・資源性の検討・ターゲットの設定
- ・地域整備のコンセプト・具体の整備内容の導出
- ・他地域との連携・テーマ・手法の検討

⑤観光振興のためのネットワーク化手法および観光地域振興のためのガイドラインの提示

- 観光振興のための地域の取り組みのガイドライン
 - ・観光資源の評価手法、および観光資源データベース構築手法
わが国の観光資源について、マーケットニーズの分析を踏まえた上でインバウンド観光面から資源性を検討する（事例3）。
 - ・観光情報のコンテンツの構成手法、および属性別の有効な提供手法
観光者ニーズを踏まえ、より効果的な観光情報の提供手法ならびにコンテンツの構成手法を提言する（事例4）。
 - ・モデル地区における新たな整備手法の提示・検証（社会実験の活用）
モデル地区において観光地域づくりの方向性、地域整備の具体的内容を設定する（事例5）。さらに、社会実験等を活用し、地域整備のための新たな手法、および整備実施のための組織・体制についての提言を行う。以上を観光地域づくりへ取り組む主体が参考にできるよう、ガイドラインとして提示。
 - ex. 補助金制度の見直し（地域へのインセンティブ）
観光地の再開発制度の構築
人材育成の“公共事業化”等

＊ガイドラインのイメージ



b. 豊かな観光体験を提供する資源・交通拠点のネットワーク化手法

・資源性・来訪者属性を考慮したネットワーク化手法

地域ごとに異なる資源性、あるいは来訪者の属性別の行動特性や満足度構造より、地域別・ターゲット別のネットワーク化手法を提言する（事例6）。

・観光行動からみた交通拠点ネットワーク化手法

観光行動における利便性の向上のために、交通拠点ネットワーク化手法を提言（事例7）。

ex. レンタカー・システムの改良（配置、手続きの簡易化）、乗合いタクシー
観光産業と交通産業の連携
交通拠点における観光情報、宿泊情報、道路情報の集約・発信
他モードとのサービスの連携 等

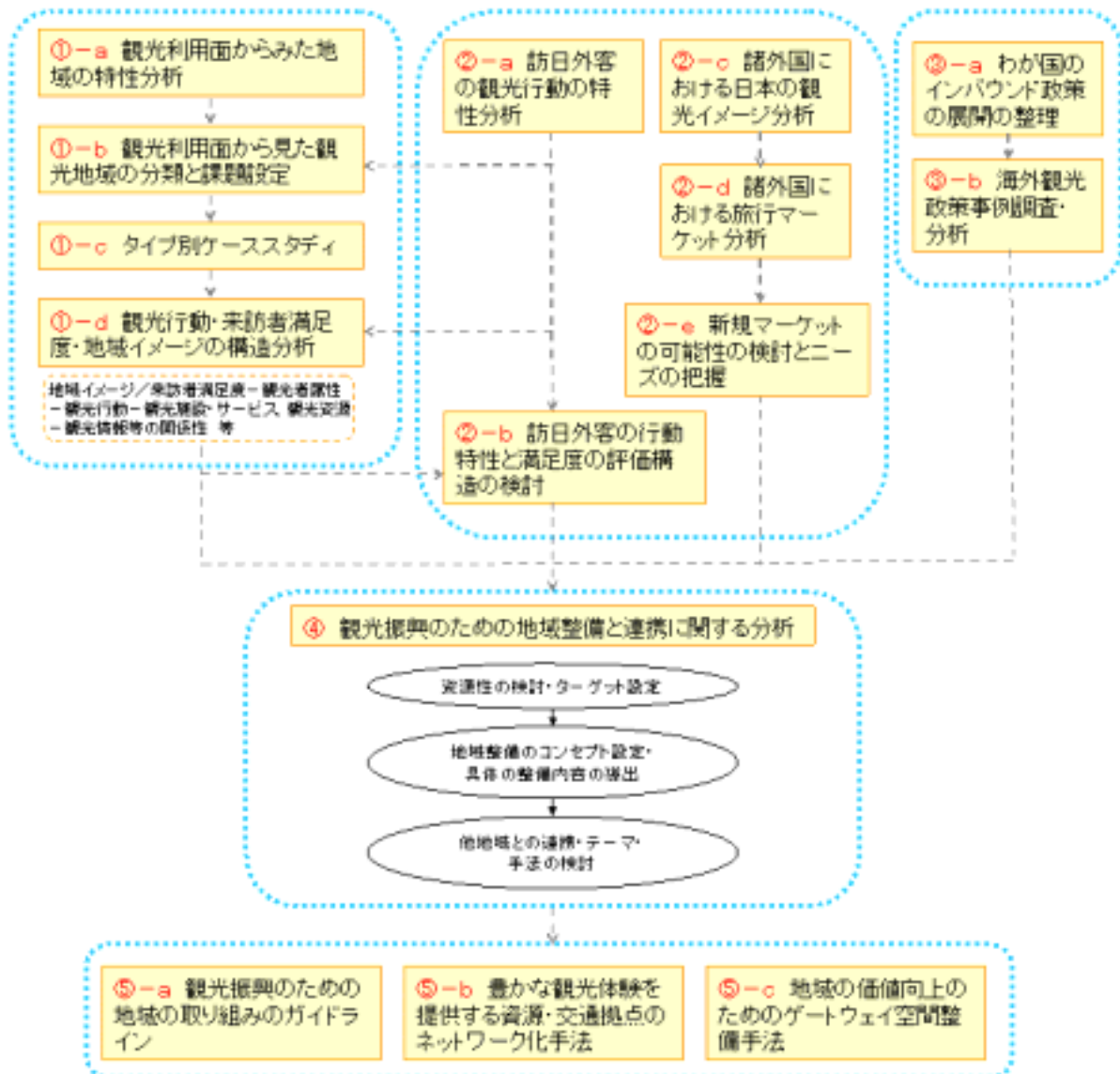
c. 地域の価値向上のためのゲートウェイ空間整備手法

地域の資源性を考慮し、地域イメージ形成に資するゲートウェイ空間の景観整備手法、および観光客の利便性を高め、新たな魅力を創出するような施設整備手法を提言（事例8）。

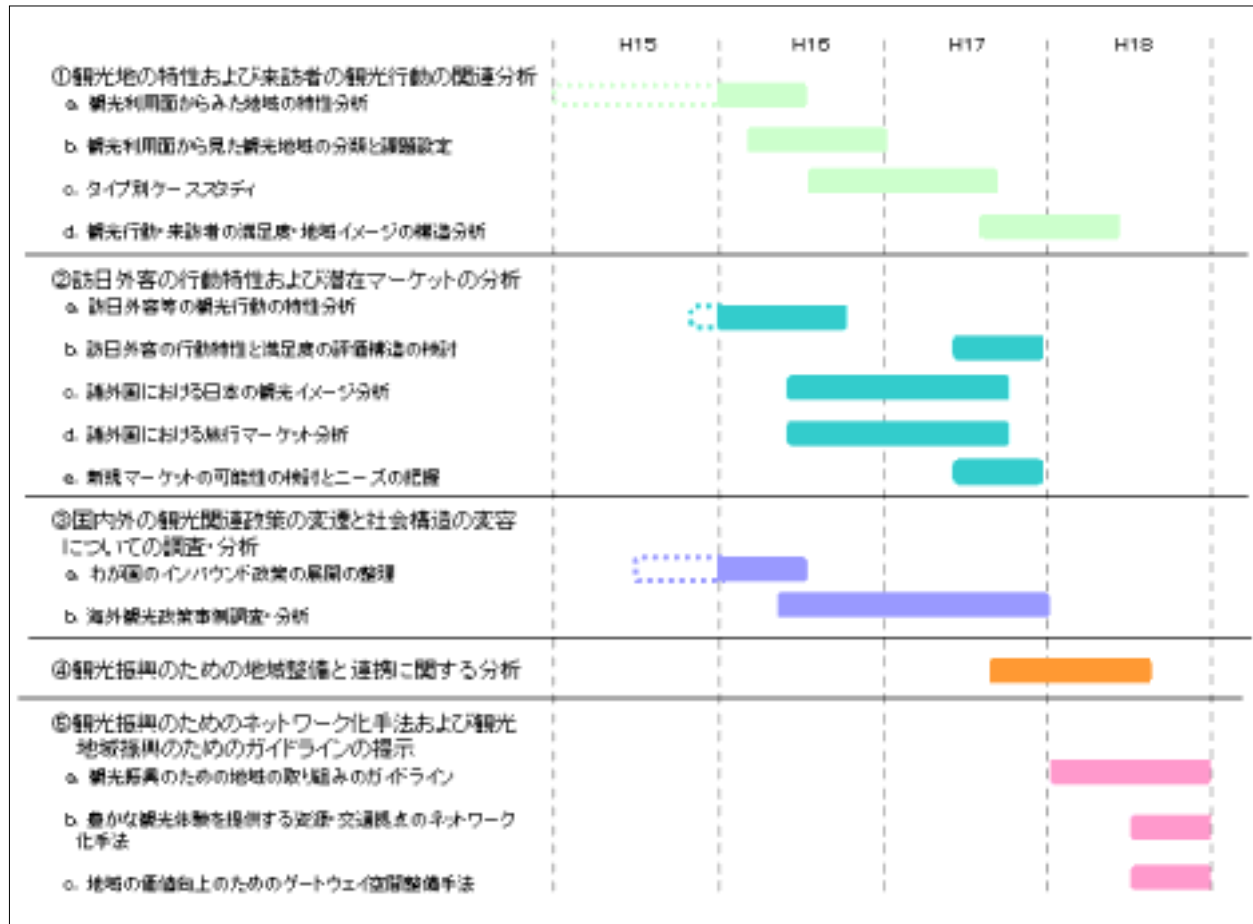
ex. 多様なニーズの発掘・創造

発着・到着便以外の多様なニーズに合わせたあわせたバス便等
交通拠点へのショッピングセンター機能の導入

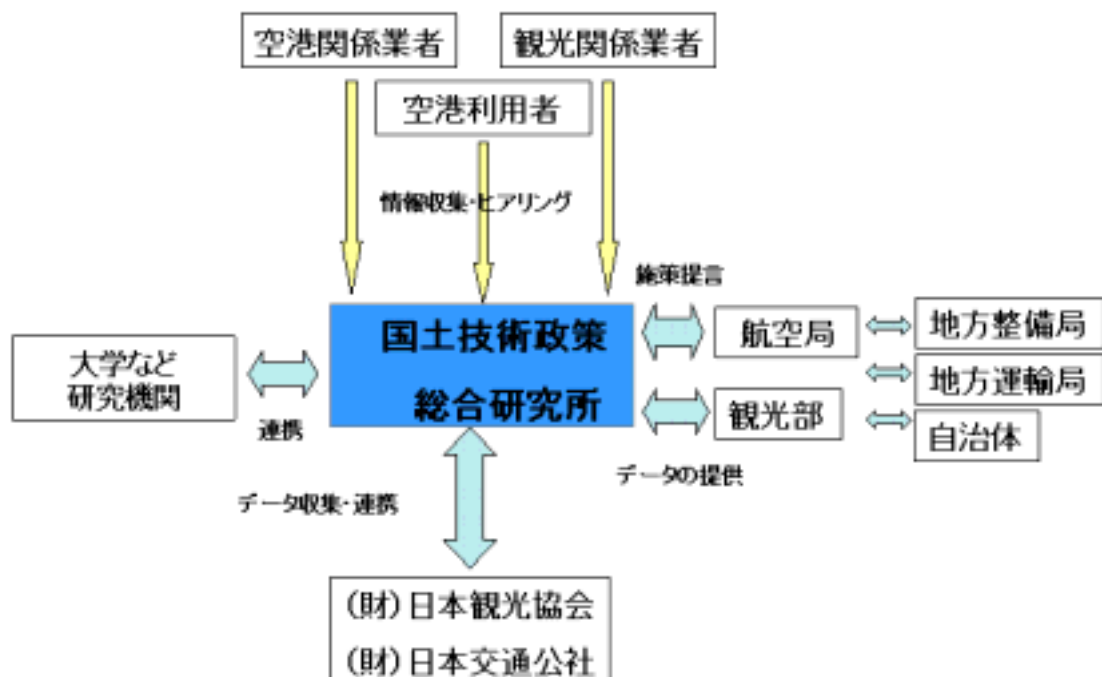
4. 2 研究の構成



4.3 研究のスケジュール



5 研究の体制



「地域資源・交通拠点等のネットワーク化による国際観光振興方策に関する研究」研究マップ

課題名

- ① 来訪者の観光行動の分析
- ② 国内外の観光関連政策の変遷と社会構造の変容についての調査・分析
- ③ 観光振興のためのマネジメントガイドラインの作成
- ④ 観光地域振興のための社会資本整備手法の開発

目標達成に必要な アプローチ一覧		現状(現象)把握	現象分析	手法開発	政策化
観光の主体 (心理・行動)		← ① →			↑
観光対象	観光資源	↑			②
	観光施設・サービス	①			
手段	交通	← ① →	← ③ →	← ③ →	
	情報			← ③ →	
地域経営				← ④ →	↓

かなり研究が進んでいる研究領域
 ほとんど研究が進んでいない研究領域

いくらか研究が進んでいる研究領域
 国総研で過去に取り組んできた研究領域